

競 技 注 意 事 項

1 受付について

- (1) チーム受付は行わない。領収書が必要な場合は本部に申し出ること。

2 競技規則および申し合せ事項について

- (1) 本大会は、2025 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会競技注意事項に基づいて行う。
- (2) 本大会のスタート動作における競技規則については、国内適用で競技を行う。

3 招集について

- (1) 招集所は、100mゴール地点付近にテントを設営し行う。
- (2) 欠場者は、招集所にて報告する。
- (3) トラック競技は競技開始 40 分前から始め、20 分前で完了とする。
- (4) フィールド競技は競技開始 50 分前から始め、30 分前で完了とする。
- (5) 棒高跳については、競技開始 90 分前から始め、60 分前に完了とする。
- (6) 招集時間に遅れた者は、棄権とみなし出場を認めない。

4 リレー競技のオーダー用紙提出について

- (1) オーダー用紙は記録室に用意する。
- (2) 予選については、招集完了の 30 分前までに記録室へ提出する。

5 アスリートビブス(ゼッケン)について

- (1) トラック競技・投擲競技については胸背部に確実につけること。跳躍競技については、背または胸につけるだけでよい。

6 腰ナンバーカードについて

- (1) 腰ナンバーカードは主催者で用意する。

7 使用器具について

- (1) 原則として競技場備え付けのものを使用する。ただし、「ポール」と「投擲器具」については各校または団体から持参したものを使用してもよい。ただし、投擲器具については大会本部にて検定を受けること。なお、検定については次のとおりにする。

検査時間	招集開始 1 時間前から招集開始時刻まで
検査場所	南器具庫

8 競技について

- (1) WA 規則第 143 条(TR5: シューズ)のルールを順守すること。
- (2) 全天候型トラックなので、トラック・フィールドともにスパイクのピンの長さは 7 mm 以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投は 12 mm 以下のものを使用すること。
トラック競技において、ゴール後は正面スタンド裏を通行し各校・団体ベンチに帰ること。その際、正面スタンド裏をスパイクで通行することは禁止する。
- (3) 選手及び学校・団体関係者はスマートフォン、ビデオ等の情報通信機器類を招集所・競技場所に持ち込むことはできない。撮影については 13 項を参照のこと。
- (4) 競技中のケガ等については応急処置を行うが、その後は各学校・団体で対処すること。

- (5) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順については、すべてプログラム記載どおりに行う。
- (6) 長距離競技の給水は各団体で行い、2名を上限とする。
- (7) フィールド競技は、すべて計測する。
- (8) 棒高跳については、天候不良の(予想される)場合、競技日時を変更することもある。
- (9) 走幅跳は2ピットで行う。三段跳の踏切版は男子10m、女子8mとする。高さの競技におけるバーの上げ方は枠内の通りとする。

〈バーの上げ方〉

(男子) 走高跳 練習(1m30 1m60)

1m35,1m40,1m45,1m50…(以降5cmずつ),1m85,…(以降3cmずつ)

棒高跳 練習(3m00 3m40 4m00)

3m20,3m40,3m60,3m80,4m00…(以降10cmずつ)

(女子) 走高跳 練習(1m15 1m35)

1m20,1m25,1m30,1m35…(以降5cmずつ)1m55,…(以降3cmずつ)

棒高跳 練習(1m80 2m20)

1m80,2m00,2m20…(以降10cmずつ)

※中学生については、当日跳躍審判長の判断で実施する。

- (10) トラック競技とフィールド競技に重複して出場する選手はトラック競技を優先する。その場合、フィールド競技役員に必ず許可を得ること。
- (11) リレー競技のマークについては競技場備え付きのものを使用することが原則だが、テープなど、各個人で持参したものを使用してよい。その際、必ず回収すること。
- (12) 写真判定器に不備が生じた場合は、再レースを行うことがある。
- (13) 短距離種目(100m,200m,400m)は組数が多いため、スタート前の練習は行わず、スターティングブロックのセットのみとする。

9 ゴミについて

- (1) 出したゴミについては、各個人が責任を持って自宅に持ち帰ること。

10 競技場での練習について

- (1) 大会準備に支障のない範囲で可とする。ただし、競技会開始時刻の20分前までとする。競技中のバックストレートでの練習は競技に支障がない範囲でもよい。長距離の競技中は6～8レーンのみ使用してもよい。スタート時は走らない。大会本部や役員の指示があった場合は速やかに従うこと。
- (2) 雨天走路は原則立ち入り禁止とする。雨天時は主催者の指示に従って安全に使用する。

11 立ち入り禁止区域について

- (1) カラーコーンなどで規制されたエリアには立ち入らないこと。(バックストレート倉庫付近及びバックストレート中央)

12 各校・各団体のベンチおよび保護者席について

- (1) 正面スタンドの長イスは各高等学校が使用する。青いイスは中学校及び他の団体が使用する荷物については、競技終了後片付け持ち帰る。

- (2) 保護者席については、放送室周辺の青いイスを使用する。
- (3) 禁止区域内及び競技場外にベンチ及びテントを設置しないこと。

13 写真・ビデオ撮影及び携帯電話・スマートフォンの使用について

- (1) 選手の人権保護・肖像権保護のため、競技会における写真・ビデオ撮影について、ご理解とご協力をお願いします。各校に関係する団体等が撮影を希望する場合は、必ず本部で許可を得ること。
- (2) グラウンドレベルでの携帯電話・スマートフォンの使用については、選手・マネージャー顧問・保護者を問わず、禁止とする。

〈観客席からの撮影制限〉

- 1 観客席での撮影を禁止させていただくエリアは下記の席です。
 - ◆各種目のスタート後方
 - ◆走高跳、走幅跳・三段跳・棒高跳の助走後方・着地前方
 - ◆走高跳マットに向かった正面(クリアランス動作中)
- 2 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- 3 選手がスターティングブロックの足あわせをしたり、試技を待っていたりする間や、体を動かしているなど準備の行動は撮影を禁止します。
- 4 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、速やかに警察および関係機関に連絡をとります。

14 その他

- (1) 今大会は大会エントリー締め切り日から大会当日までの日数が少ない為、プログラムを作成しない。必要な学校・団体は東三河陸上競技協会の HP にスタートリストが掲載されるのでそちらを参照してください。